

いる3Kで、きつい、きびしい、きたないということです。

結論は、ほどほどの経済力、こざっぱりしたおしゃれでありたい、家族には頑固といわれるが、バックボーンのある骨っばい態度をしてもらいたいと思います。

市内他クラブプログラム

- 2月14日(木) 函館R.C. 「世界理解月間にちなんで」
国際奉仕委員会
- 2月15日(金) 五稜郭R.C. 「無線通信今昔」
STV 加登川 清氏
- 2月18日(月) 亀田R.C. 会員卓話
- 2月19日(火) 函館東R.C. 会員卓話

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 1月30日	96.6%
出 席	43名		函 館 東 1月29日	92.5%
欠 席	22名		函 館 1月24日	88.7%
他クラブ出席	15名		函館五稜郭 1月25日	100.0%
出席合計	58名		函館亀田 1月28日	82.0%
除 外 者	5名			

次回・2月20日
プログラム

「最近の経済情勢について」

日本銀行函館支店
支店長 鈴木 保典氏

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函館国際ホテル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

第251地区 第11分区



1990~1991

The Weekly Report of

Hakodate North R.C.

函館北ロータリークラブ会報



わたりつづける
セーラー・マシンのシャトル・ライナー

パウロ V.C. コスター
国際ロータリー会長テーマ

Honor Rotary
with Faith
and Enthusiasm

ロータリーを高めよ

—— 思いを尽くし
熱意を尽くし

函館市観光ポスター(62年冬)
提供 (株)道映

《第1336回例会》 第31号 2月20日(水)

本日のプログラム

「最近の経済情勢について」

日本銀行函館支店 支店長 鈴木 保典氏

★会 長 斉藤 紀一 ★幹 事 伊藤 康男

1990~1991

〈第1335回例会〉第30号

2月13日の記録

●司会 齋藤 紀一 会長 ●斉 唱 それでこそロータリー

●ピジター 函館R.C. 川端久雄 君他1名 函館東R.C. 沢田 幸矣 君
五稜郭R.C. 上出眞也 他2名 亀田R.C. 加藤忠雄 君

●ゲスト 北海道電力㈱函館支店労務課 吉田 茂 氏

●会長報告 齋藤 紀一 会長

○函館東R.C.では15名の増員という事で、当クラブでも皆様のご協力を得て、会員増強をはかって行きたいと思っております。よろしくお願ひします。

●幹事報告 三本木 元 副幹事

○他クラブの情報をお知らせします。2月21日(木)函館R.C.、2月26日(火)函館東R.C.はそれぞれ夜間例会となっております。

○4月26日に札幌で開催されます地区大会、本日が参加申し込みの締切です。多数のご参加をお願いします。

●職業奉仕委員会 六崎 靖 委員長

○齋藤会長のおはからいにより、健康診断を実施させていただきます。ご案内のとおり、2月27日(木)・3月10日(日)に行いますので皆様受診方お願いします。健康をチェックされ、仕事におはげみ下さい。

●親睦活動委員会 吉田 隆 委員長

ニコニコBOX投入報告

川村(昭)会員……BOXに協力

齋藤 会長……受付で齋藤(博)会員の顔を見ましたので。

中里 会員……受付の人の顔を見まして協力します。

吉行 会員……ようやくながかった風邪が直りました。

吉田 会員……受付の私の顔を見てご協力いただきましたので。

松見 会員……受付で吉田会員の顔を見ましたので。

小竹 会員……

齋藤(博)会員……BOXに協力します。

●卓 話 “経済至上主義国家カルタゴの悲劇”

北海道電力㈱函館支店 労務課 吉田 茂 氏

昨年10月に研修により、イタリア・チュニジア・ギリシャへ行ってまいりました。特に紀元前8世紀に経済大国として栄えたフェニキア人のカルタゴに興味を持ち研究してまいりました。

1. 研修国および研修テーマ

① 研修国 イタリア・チュニジア(北アフリカ)・ギリシャ

② テーマ概要

紀元前8世紀、地中海において経済大国に発展した貿易国家カルタゴは、物質的な豊かさを追求するあまりギリシャ・ローマ人から「人生のよろこびを知らない不気味な民族」と非難を受け、ついには100年以上にもわたるポエニ戦争でローマ帝国に滅ぼされるに至った。

これらの歴史を現在の日本がおかれた立場に照らし合わせ、民族の対立とはどのようなものか、さらに精神的な豊かさへの価値観について考察する。

2. 研修報告

① それぞれの民族が見出した豊かさへの価値観

〔ギリシャ人〕フェニキア人と同様に商才にたけているが、物質的な富よりも人間らしく生きる事、内面的な豊かさを理想とする人生観を持っており、哲学・芸術が発展しました。

〔ローマ人〕ギリシャ文化を吸収してゆとりの生活をもとめ、スポーツや娯楽を発達させると同時に、権力の象徴としての強大な建造物、彫刻などの芸術を確立した。

〔フェニキア人〕独自の宗教、そして町中に下水道があり、当時としては高層な4階建の建物をつくるような高度な技術を持ったにもかかわらず、芸術等とは関係なく、生活の利便性を追求するにとどまり、精神的なゆとりや豊かさには無関心。

あくまでも利益中心でそれ以外は政治も必要最小限。

② 民族性の対立

フェニキア人は、物質的な富を追求する事だけに力を注ぎ、他国へ行っても取り引きだけについて話をして、人間的な交流をしようとせず、精神的豊かさを求めたギリシャ・ローマの文化に理解や協調を示そうとしなかった。この閉鎖性が民族的対立へと発展し、憎しみの感情は、カルタゴを地上から抹殺させるほど悲惨な戦争への原動力となった。

日本がカルタゴと同じ道をあゆんでいるとすれば、文化交流等につきさらに努力すべきであると、歴史が示していると考ええる。

3. 研修国チュニジアについて

チュニジアは北アフリカにある小さな国で、ほとんど産業がなく、オリーブ・ブドウ等の農業、そして観光が主なものである。

① アラブ民族

民族はアラブ民族であり、私が訪問した時はまだ開戦前でしたが、チュニジアの人は、サダム・フセインは方法を誤ったが、クウェートはなんとかしなければならぬ。クウェートは、石油はほんの一部の人が豊かで、一般の人々は貧しい生活をしており、フセインがやらなければだれかが改革しなければならぬと考えている。

② イスラム教

宗教はイスラム教であり、イスラム教の神は「アラーの神」であり、この神は何かをお願いする神でなく、自分が今日一日有意義に過す事ができた等

③ 理想の国は日本

同国の政策の中で言われている事は、日本の様な技術の高さ、日本人の様な勤勉さが必要だという事である。私のテーマは、今後日本はどうすべきなのかを求めて、チュニジアへ行ったのですが、逆に日本の勤勉さを求めており、驚きと共に歴史はくりかえされるというか、勤勉さを求めて、又カルタゴという国ができるのではという思いを持った。

市内他クラブプログラム

- 2月21日(木) 函館R.C. R.I.創立を記念して夜間例会
- 2月22日(金) 五稜郭R.C. 議会うらばなし 大日向豊吉 会員
- 2月25日(月) 亀田R.C. 会員卓話 フリートーキング
- 2月26日(火) 函館東R.C. R.I.創立を記念して夜間例会
2 / 23に移動

◎ 出席報告

会 員 数	65名	出 席 率	函 館 北 2月 6日	93.44
出 席 席	41名		函 館 東 2月 5日	89.87
欠 席 席	24名		函 館 1月31日	91.65
他クラブ出席	16名		函館五稜郭 2月 1日	100.00
出席合計	57名		函 館 亀 田 2月 4日	91.84
除 外 者	4名			

次回・2月27日
プログラム

会員卓話 (テーマ未定)

中野 亮 会員

例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 例会場：函 館 国 際 ホ テ ル
事務所：函館市大手町5-10 日魯ビル3F TEL (0138) 23-3870

平成 3 年 2 月 2 0 日

会 員 各 位

函館北ロータリークラブ

幹 事 伊 藤 康 男

今般、当クラブ会員より下記の方の入会の推せんがありましたので、理事会はこれを職業分類委員会ならびに会員選考委員会にはかりました結果、両委員会よりそれぞれ適格であるとの報告をうけました。

よって、理事会はその報告に基づき会員候補者として、これをクラブ内に事前発表することにいたしました。

つきましては、同候補者の入会に対してご異議のある方は、来たる3月1日までに書面により幹事あてお知らせ下さるようお願いいたします。

氏 名	職業分類	役 職 名	推 薦 会 員
高 橋 修 三 <small>たか しま しゅう ぞう</small>	医療器具販売	代表取締役 北海道南メディックス	森 秀 樹